



4月の朝会での話を簡潔にまとめて紹介します。

4月22日 「挨拶とは・・・」

皆さん、おはようございます。

習っていない漢字ですが、読めますか、この漢字？（「挨拶」の字を提示）

【中学年・高学年の児童から、「あいさつ！」との声が・・・】

今日は、挨拶についてお話します。

さて、挨拶とは何でしょう？

挨拶の「挨」は、「心を開くこと」、「拶」は「心に近づいていく」という意味で、使われるようになったそうです。つまり、挨拶とは、「自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく」ということであり、一緒に生活していく上で、人と人がつながっていく第1歩であると思います。

校長先生も、みなさんから先に「おはようございます」と声をかけられたら、うれしい気持ちになるし、「おはようございます」と声をかけて、あいさつが返ってくると、これもまた、うれしい気持ちになります。また、散歩している近所の方や高校生・中学生に、先に挨拶をしていると、挨拶を返してくれるようになりました。

このうれしい気持ちや心地よさが、心を開くこと、お互いに近づいていくことにつながっていくのかなと思います。

朝の「おはようございます」の挨拶の他にも、「こんにちは」「こんばんは」の挨拶、「お世話になりました」「ありがとうございました」「ごめんなさい」など心を伝える、心をつなぐ言葉はあります。その場に応じて使えるといいですね。

今から、ぜひ、覚えて欲しいあいさつのキャッチフレーズを言います。（1文字ずつ提示）

あいさつの「あ」は、明るい声で【児童からは「相手を見て」との声も聞こえてきました。】

あいさつの「い」は、いつも元気に

あいさつの「さ」は、先に進んで

あいさつの「つ」は、伝えよう気持ち

新町小学校の子どもは、気持ちの良い挨拶ができるというのが、伝統の一つになっています。これからも、ますます、挨拶でいっぱいの新町小学校にしていきたいと思います。